

Point  
1

## 新しいことに挑戦したくなる、多彩な科目群。

### 幅広い好奇心に合わせた科目を設置

文学科の日本語日本文学専攻コースでは、日本の「言葉」「詩歌」「物語」「文学」、そして日本と関わりの深い「東アジア文化」という5つの柱で、多種多様な講義を受けることができます。

#### 1 「言葉」を学ぶ

古代から現代に至る“日本語”について、言語としての歴史をさかのぼり、その変容を知るとともに、方言や言語学の基礎等を修得します。

学びのキーワード  
#日本語史 #音声学 #語彙 #敬語  
#言語学 #方言 #文法と作品解釈

#### 2 「詩歌」を読み解く

文学史上の代表的な詩歌作品を分析。詩歌特有の表現形式を学び、その奥にある時代特性や精神性を読み解きます。

学びのキーワード  
#和歌 #俳諧 #漢詩 #文学史 #ビブリオグラフィー

#### 3 「物語」を理解する

文学史上の重要な物語作品を講読。物語を分析することで得られる、作品をより深く理解する力で、読解の楽しさを味わいます。

学びのキーワード  
#物語 #隨筆 #紀行 #文学史 #ビブリオグラフィー

#### 4 「日本列島の文学」に触れる

琉球文学やアイヌ文学、各地の伝承文学等、日本列島のさまざまな文学・文化に触れ、広い視野で日本文学を捉えられるようにします。

学びのキーワード  
#沖縄琉球文学 #伝承文学 #アイヌ文学  
#昔話 #神話 #マイノリティ文学

#### 5 「東アジア文化」を知る

日本と関わりの深い中国の文化や、書道、古典芸能、演劇等について知ることで、現代に至る文学表現の歴史を考えます。

学びのキーワード  
#中国の文化 #書道 #古典芸能・演劇  
#現代詩・短歌・俳句 #コミック表現

自由度の高いカリキュラムの中で、自身の興味をどこまでも広げていき、新しいことに興味を持ったり挑戦したりする「前に踏み出す力」を養うことができます。

日本文学の探究から見える、新たな歴史・思想・世界。

Point  
2

## 社会で必要とされる能力に、直結する学び。

### ✓ 将来につながる大学の学び方を修得

1年次の必修科目である「ビブリオグラフィー入門」では、①わからないことを調べ、②レポート等の適切な表現方法を身につけ、③口頭で正確にわかりやすく伝える、大学での学修では勿論、社会に出てからも必要な能力と知識が身につきます。また教員と学生、学生同士での対話を通じた学修を重視し、「自分の考えを発信する力」と同時に「他者を理解する力」や「チームで働く力」が鍛えられます。



### ✓ 思考と成長を止めない学修環境

同じく1年次の必修科目である「リーディング日本語日本文学基礎」では、自身の発表に対する教員または学生の意見を聞き、論理的な討議を重ねることで考察を深め、より練磨された内容のレポートを作成します。

こうした文章作成や発表を繰り返し行うことで、「考え方抜く力」を磨くことができます。



### カリキュラム

卒業基準単位数: 124 教養的科目: 22 専門科目: 102

※2023年4月1日入学者の場合。

	1年次	2年次	3年次	4年次
日本語学、日本文学の基礎を学ぶ	少人数で専門科目を深く学ぶ	興味の対象を深く学ぶ	卒業論文の完成をめざす	
「読み、考え、まとめる」訓練を行いつつ、「日本文学概論」等の専門科目で基礎を修得します。	少人数の講習形式で専門的な学びを修得しつつ、多様な科目群から研究したい「何が」を見つけてください。	ゼミナールで専門分野の学びを徹底的に深めつつ、研究テーマの関連分野も広く学修します。	ゼミナールでの学びを軸に卒業論文に挑戦。自分の問題意識と向き合いながら集大成として完成をめざします。	
必修科目	・ビブリオグラフィー入門 ・リーディング日本語日本文学基礎	・総合演習初級1 ・総合演習初級2	・総合演習上級1 ・総合演習上級2	・音楽鑑賞 ・総合演習上級3 ・総合演習上級4
選択必修科目	・日本語学概論1 ・日本語学概論2 ・日本文学概論1 ・日本文学概論2 ・洋文学概論1 ・日本近現代文学史1 ・日本近現代文学史2 ・日本語文法1 ・日本語文法2 ・情報処理日本語日本文学1 ・情報処理日本語日本文学2	・日本古文典学1 ・日本古文典学2 ・日本古文典学3 ・日本古文典学4 ・日本古文典学5 ・日本近現代文学史1 ・日本近現代文学史2 ・日本語文法1 ・日本語文法2 ・日本語研究史	・日本詩史 ・日本文学特論1 ・日本文学特論2 ・日本文学特論3 ・日本文学特論4 ・日本文学特論5 ・日本文学特論6 ・日本文学特論7 ・日本文学特論8 ・日本文学特論9 ・日本文学特論10 ・日本文学特論11 ・日本文学特論12 ・日本文学特論13 ・日本文学特論14 ・日本文学特論15 ・日本文学特論16 ・日本文学特論17 ・日本文学特論18 ・日本文学特論19 ・日本文学特論20 ・日本文学特論21 ・日本文学特論22 ・日本文学特論23 ・日本文学特論24 ・日本文学特論25 ・日本文学特論26 ・日本文学特論27 ・日本文学特論28 ・日本文学特論29 ・日本文学特論30 ・日本文学特論31 ・日本文学特論32 ・日本文学特論33 ・日本文学特論34 ・日本文学特論35 ・日本文学特論36 ・日本文学特論37 ・日本文学特論38 ・日本文学特論39 ・日本文学特論40 ・日本文学特論41 ・日本文学特論42 ・日本文学特論43 ・日本文学特論44 ・日本文学特論45 ・日本文学特論46 ・日本文学特論47 ・日本文学特論48 ・日本文学特論49 ・日本文学特論50 ・日本文学特論51 ・日本文学特論52 ・日本文学特論53 ・日本文学特論54 ・日本文学特論55 ・日本文学特論56 ・日本文学特論57 ・日本文学特論58 ・日本文学特論59 ・日本文学特論60 ・日本文学特論61 ・日本文学特論62 ・日本文学特論63 ・日本文学特論64 ・日本文学特論65 ・日本文学特論66 ・日本文学特論67 ・日本文学特論68 ・日本文学特論69 ・日本文学特論70 ・日本文学特論71 ・日本文学特論72 ・日本文学特論73 ・日本文学特論74 ・日本文学特論75 ・日本文学特論76 ・日本文学特論77 ・日本文学特論78 ・日本文学特論79 ・日本文学特論80 ・日本文学特論81 ・日本文学特論82 ・日本文学特論83 ・日本文学特論84 ・日本文学特論85 ・日本文学特論86 ・日本文学特論87 ・日本文学特論88 ・日本文学特論89 ・日本文学特論90 ・日本文学特論91 ・日本文学特論92 ・日本文学特論93 ・日本文学特論94 ・日本文学特論95 ・日本文学特論96 ・日本文学特論97 ・日本文学特論98 ・日本文学特論99 ・日本文学特論100 ・日本文学特論101 ・日本文学特論102 ・日本文学特論103 ・日本文学特論104 ・日本文学特論105 ・日本文学特論106 ・日本文学特論107 ・日本文学特論108 ・日本文学特論109 ・日本文学特論110 ・日本文学特論111 ・日本文学特論112 ・日本文学特論113 ・日本文学特論114 ・日本文学特論115 ・日本文学特論116 ・日本文学特論117 ・日本文学特論118 ・日本文学特論119 ・日本文学特論120 ・日本文学特論121 ・日本文学特論122 ・日本文学特論123 ・日本文学特論124 ・日本文学特論125 ・日本文学特論126 ・日本文学特論127 ・日本文学特論128 ・日本文学特論129 ・日本文学特論130 ・日本文学特論131 ・日本文学特論132 ・日本文学特論133 ・日本文学特論134 ・日本文学特論135 ・日本文学特論136 ・日本文学特論137 ・日本文学特論138 ・日本文学特論139 ・日本文学特論140 ・日本文学特論141 ・日本文学特論142 ・日本文学特論143 ・日本文学特論144 ・日本文学特論145 ・日本文学特論146 ・日本文学特論147 ・日本文学特論148 ・日本文学特論149 ・日本文学特論150 ・日本文学特論151 ・日本文学特論152 ・日本文学特論153 ・日本文学特論154 ・日本文学特論155 ・日本文学特論156 ・日本文学特論157 ・日本文学特論158 ・日本文学特論159 ・日本文学特論160 ・日本文学特論161 ・日本文学特論162 ・日本文学特論163 ・日本文学特論164 ・日本文学特論165 ・日本文学特論166 ・日本文学特論167 ・日本文学特論168 ・日本文学特論169 ・日本文学特論170 ・日本文学特論171 ・日本文学特論172 ・日本文学特論173 ・日本文学特論174 ・日本文学特論175 ・日本文学特論176 ・日本文学特論177 ・日本文学特論178 ・日本文学特論179 ・日本文学特論180 ・日本文学特論181 ・日本文学特論182 ・日本文学特論183 ・日本文学特論184 ・日本文学特論185 ・日本文学特論186 ・日本文学特論187 ・日本文学特論188 ・日本文学特論189 ・日本文学特論190 ・日本文学特論191 ・日本文学特論192 ・日本文学特論193 ・日本文学特論194 ・日本文学特論195 ・日本文学特論196 ・日本文学特論197 ・日本文学特論198 ・日本文学特論199 ・日本文学特論200 ・日本文学特論201 ・日本文学特論202 ・日本文学特論203 ・日本文学特論204 ・日本文学特論205 ・日本文学特論206 ・日本文学特論207 ・日本文学特論208 ・日本文学特論209 ・日本文学特論210 ・日本文学特論211 ・日本文学特論212 ・日本文学特論213 ・日本文学特論214 ・日本文学特論215 ・日本文学特論216 ・日本文学特論217 ・日本文学特論218 ・日本文学特論219 ・日本文学特論220 ・日本文学特論221 ・日本文学特論222 ・日本文学特論223 ・日本文学特論224 ・日本文学特論225 ・日本文学特論226 ・日本文学特論227 ・日本文学特論228 ・日本文学特論229 ・日本文学特論230 ・日本文学特論231 ・日本文学特論232 ・日本文学特論233 ・日本文学特論234 ・日本文学特論235 ・日本文学特論236 ・日本文学特論237 ・日本文学特論238 ・日本文学特論239 ・日本文学特論240 ・日本文学特論241 ・日本文学特論242 ・日本文学特論243 ・日本文学特論244 ・日本文学特論245 ・日本文学特論246 ・日本文学特論247 ・日本文学特論248 ・日本文学特論249 ・日本文学特論250 ・日本文学特論251 ・日本文学特論252 ・日本文学特論253 ・日本文学特論254 ・日本文学特論255 ・日本文学特論256 ・日本文学特論257 ・日本文学特論258 ・日本文学特論259 ・日本文学特論260 ・日本文学特論261 ・日本文学特論262 ・日本文学特論263 ・日本文学特論264 ・日本文学特論265 ・日本文学特論266 ・日本文学特論267 ・日本文学特論268 ・日本文学特論269 ・日本文学特論270 ・日本文学特論271 ・日本文学特論272 ・日本文学特論273 ・日本文学特論274 ・日本文学特論275 ・日本文学特論276 ・日本文学特論277 ・日本文学特論278 ・日本文学特論279 ・日本文学特論280 ・日本文学特論281 ・日本文学特論282 ・日本文学特論283 ・日本文学特論284 ・日本文学特論285 ・日本文学特論286 ・日本文学特論287 ・日本文学特論288 ・日本文学特論289 ・日本文学特論290 ・日本文学特論291 ・日本文学特論292 ・日本文学特論293 ・日本文学特論294 ・日本文学特論295 ・日本文学特論296 ・日本文学特論297 ・日本文学特論298 ・日本文学特論299 ・日本文学特論300 ・日本文学特論301 ・日本文学特論302 ・日本文学特論303 ・日本文学特論304 ・日本文学特論305 ・日本文学特論306 ・日本文学特論307 ・日本文学特論308 ・日本文学特論309 ・日本文学特論310 ・日本文学特論311 ・日本文学特論312 ・日本文学特論313 ・日本文学特論314 ・日本文学特論315 ・日本文学特論316 ・日本文学特論317 ・日本文学特論318 ・日本文学特論319 ・日本文学特論320 ・日本文学特論321 ・日本文学特論322 ・日本文学特論323 ・日本文学特論324 ・日本文学特論325 ・日本文学特論326 ・日本文学特論327 ・日本文学特論328 ・日本文学特論329 ・日本文学特論330 ・日本文学特論331 ・日本文学特論332 ・日本文学特論333 ・日本文学特論334 ・日本文学特論335 ・日本文学特論336 ・日本文学特論337 ・日本文学特論338 ・日本文学特論339 ・日本文学特論340 ・日本文学特論341 ・日本文学特論342 ・日本文学特論343 ・日本文学特論344 ・日本文学特論345 ・日本文学特論346 ・日本文学特論347 ・日本文学特論348 ・日本文学特論349 ・日本文学特論350 ・日本文学特論351 ・日本文学特論352 ・日本文学特論353 ・日本文学特論354 ・日本文学特論355 ・日本文学特論356 ・日本文学特論357 ・日本文学特論358 ・日本文学特論359 ・日本文学特論360 ・日本文学特論361 ・日本文学特論362 ・日本文学特論363 ・日本文学特論364 ・日本文学特論365 ・日本文学特論366 ・日本文学特論367 ・日本文学特論368 ・日本文学特論369 ・日本文学特論370 ・日本文学特論371 ・日本文学特論372 ・日本文学特論373 ・日本文学特論374 ・日本文学特論375 ・日本文学特論376 ・日本文学特論377 ・日本文学特論378 ・日本文学特論379 ・日本文学特論380 ・日本文学特論381 ・日本文学特論382 ・日本文学特論383 ・日本文学特論384 ・日本文学特論385 ・日本文学特論386 ・日本文学特論387 ・日本文学特論388 ・日本文学特論389 ・日本文学特論390 ・日本文学特論391 ・日本文学特論392 ・日本文学特論393 ・日本文学特論394 ・日本文学特論395 ・日本文学特論396 ・日本文学特論397 ・日本文学特論398 ・日本文学特論399 ・日本文学特論400 ・日本文学特論401 ・日本文学特論402 ・日本文学特論403 ・日本文学特論404 ・日本文学特論405 ・日本文学特論406 ・日本文学特論407 ・日本文学特論408 ・日本文学特論409 ・日本文学特論410 ・日本文学特論411 ・日本文学特論412 ・日本文学特論413 ・日本文学特論414 ・日本文学特論415 ・日本文学特論416 ・日本文学特論417 ・日本文学特論418 ・日本文学特論419 ・日本文学特論420 ・日本文学特論421 ・日本文学特論422 ・日本文学特論423 ・日本文学特論424 ・日本文学特論425 ・日本文学特論426 ・日本文学特論427 ・日本文学特論428 ・日本文学特論429 ・日本文学特論430 ・日本文学特論431 ・日本文学特論432 ・日本文学特論433 ・日本文学特論434 ・日本文学特論435 ・日本文学特論436 ・日本文学特論437 ・日本文学特論438 ・日本文学特論439 ・日本文学特論440 ・日本文学特論441 ・日本文学特論442 ・日本文学特論443 ・日本文学特論444 ・日本文学特論445 ・日本文学特論446 ・日本文学特論447 ・日本文学特論448 ・日本文学特論449 ・日本文学特論450 ・日本文学特論451 ・日本文学特論452 ・日本文学特論453 ・日本文学特論454 ・日本文学特論455 ・日本文学特論456 ・日本文学特論457 ・日本文学特論458 ・日本文学特論459 ・日本文学特論460 ・日本文学特論461 ・日本文学特論462 ・日本文学特論463 ・日本文学特論464 ・日本文学特論465 ・日本文学特論466 ・日本文学特論467 ・日本文学特論468 ・日本文学特論469 ・日本文学特論470 ・日本文学特論471 ・日本文学特論472 ・日本文学特論473 ・日本文学特論474 ・日本文学特論475 ・日本文学特論476 ・日本文学特論477 ・日本文学特論478 ・日本文学特論479 ・日本文学特論480 ・日本文学特論481 ・日本文学特論482 ・日本文学特論483 ・日本文学特論484 ・日本文学特論485 ・日本文学特論486 ・日本文学特論487 ・日本文学特論488 ・日本文学特論489 ・日本文学特論490 ・日本文学特論491 ・日本文学特論492 ・日本文学特論493 ・日本文学特論494 ・日本文学特論495 ・日本文学特論496 ・日本文学特論497 ・日本文学特論498 ・日本文学特論499 ・日本文学特論500 ・日本文学特論501 ・日本文学特論502 ・日本文学特論503 ・日本文学特論504 ・日本文学特論505 ・日本文学特論506 ・日本文学特論507 ・日本文学特論508 ・日本文学特論509 ・日本文学特論510 ・日本文学特論511 ・日本文学特論512 ・日本文学特論513 ・日本文学特論514 ・日本文学特論515 ・日本文学特論516 ・日本文学特論517 ・日本文学特論518 ・日本文学特論519 ・日本文学特論520 ・日本文学特論521 ・日本文学特論522 ・日本文学特論523 ・日本文学特論524 ・日本文学特論525 ・日本文学特論526 ・日本文学特論527 ・日本文学特論528 ・日本文学特論529 ・日本文学特論530 ・日本文学特論531 ・日本文学特論532 ・日本文学特論533 ・日本文学特論534 ・日本文学特論535 ・日本文学特論536 ・日本文学特論537 ・日本文学特論538 ・日本文学特論539 ・日本文学特論540 ・日本文学特論541 ・日本文学特論542 ・日本文学特論543 ・日本文学特論544 ・日本文学特論545 ・日本文学特論546 ・日本文学特論547 ・日本文学特論548 ・日本文学特論549 ・日本文学特論550 ・日本文学特論551 ・日本文学特論552 ・日本文学特論553 ・日本文学特論554 ・日本文学特論555 ・日本文学特論556 ・日本文学特論557 ・日本文学特論558 ・日本文学特論559 ・日本文学特論560 ・日本文学特論561 ・日本文学特論562 ・日本文学特論563 ・日本文学特論564 ・日本文学特論565 ・日本文学特論566 ・日本文学特論567 ・日本文学特論568 ・日本文学特論569 ・日本文学特論570 ・日本文学特論571 ・日本文学特論572 ・日本文学特論573 ・日本文学特論574 ・日本文学特論575 ・日本文学特論576 ・日本文学特論577 ・日本文学特論578 ・日本文学特論579 ・日本文学特論580 ・日本文学特論581 ・日本文学特論582 ・日本文学特論583 ・日本文学特論584 ・日本文学特論585 ・日本文学特論586 ・日本文学特論587 ・日本文学特論588 ・日本文学特論589 ・日本文学特論590 ・日本文学特論591 ・日本文学特論592 ・日本文学特論593 ・日本文学特論594 ・日本文学特論595 ・日本文学特論596 ・日本文学特論597 ・日本文学特論598 ・日本文学特論599 ・日本文学特論600 ・日本文学特論601 ・日本文学特論602 ・日本文学特論603 ・日本文学特論604 ・日本文学特論605 ・日本文学特論606 ・日本文学特論607 ・日本文学特論608 ・日本文学特論609 ・日本文学特論610 ・日本文学特論611 ・日本文学特論612 ・日本文学特論613 ・日本文学特論614 ・日本文学特論615 ・日本文学特論616 ・日本文学特論617 ・日本文学特論618 ・日本文学特論619 ・日本文学特論620 ・日本文学特論621 ・日本文学特論622 ・日本文学特論623 ・日本文学特論624 ・日本文学特論625 ・日本文学特論626 ・日本文学特論627 ・日本文学特論628 ・日本文学特論629 ・日本文学特論630 ・日本文学特論631 ・日本文学特論632 ・日本文学特論633 ・日本文学特論634 ・日本文学特論635 ・日本文学特論636 ・日本文学特論637 ・日本文学特論638 ・日本文学特論639 ・日本文学特論640 ・日本文学特論641 ・日本文学特論642 ・日本文学特論643 ・日本文学特論644 ・日本文学特論645 ・日本文学特論646 ・日本文学特論647 ・日本文学特論648 ・日本文学特論649 ・日本文学特論650 ・日本文学特論651 ・日本文学特論652 ・日本文学特論653 ・日本文学特論654 ・日本文学特論655 ・日本文学特論656 ・日本文学特論657 ・日本文学特論658 ・日本文学特論659 ・日本文学特論660 ・日本文学特論661 ・日本文学特論662 ・日本文学特論663 ・日本文学特論664 ・日本文学特論665 ・日本文学特論666 ・日本文学特論667 ・日本文学特論668 ・日本文学特論669 ・日本文学特論670 ・日本文学特論671 ・日本文学特論672 ・日本文学特論673 ・日本文学特論674 ・日本文学特論675 ・日本文学特論676 ・日本文学特論677 ・日本文学特論678 ・日本文学特論679 ・日本文学特論680 ・日本文学特論681 ・日本文学特論682 ・日本文学特論683 ・日本文学特論684 ・日本文学特論685 ・日本文学特論686 ・日本文学特論687 ・日本文学特論688 ・日本文学特論689 ・日本文学特論690 ・日本文学特論691 ・日本文学特論692 ・日本文学特論693 ・日本文学特論694 ・日本文学特論695 ・日本文学特論696 ・日本文学特論697 ・日本文学特論698 ・日本文学特論699 ・日本文学特論700 ・日本文学特論701 ・日本文学特論702 ・日本文学特論703 ・日本文学特論704 ・日本文学特論705 ・日本文学特論706 ・日本文学特論707 ・日本文学特論708 ・日本文学特論709 ・日本文学特論710 ・日本文学特論711 ・日本文学特論712 ・日本文学特論713 ・日本文学特論714 ・日本文学特論715 ・日本文学特論716 ・日本文学特論717 ・日本文学特論718 ・日本文学特論719 ・日本文学特論720 ・日本文学特論721 ・日本文学特論722 ・日本文学特論723 ・日本文学特論724 ・日本文学特論725 ・日本文学特論726 ・日本文学特論727 ・日本文学特論728 ・日本文学特論729 ・日本文学特論730 ・日本文学特論731 ・日本文学特論732 ・日本文学特論733 ・日本文学特論734 ・日本文学特論735 ・日本文学特論736 ・日本文学特論737 ・日本文学特論738 ・日本文学特論739 ・日本文学特論740 ・日本文学特論741 ・日本文学特論742 ・日本文学特論743 ・日本文学特論744 ・日本文学特論745 ・日本文学特論746 ・日本文学特論747 ・日本文学特論748 ・日本文学特論749 ・日本文学特論750 ・日本文学特論751 ・日本文学特論752 ・日本文学特論753 ・日本文学特論754 ・日本文学特論755 ・日本文学特論756 ・日本文学特論757 ・日本文学特論758 ・日本文学特論759 ・日本文学特論760 ・日本文学特論761 ・日本文学特論762 ・日本文学特論763 ・日本文学特論764 ・日本文学特論765 ・日本文学特論766 ・日本文学特論767 ・日本文学特論768 ・日本文学特論769 ・日本文学特論770 ・日本文学特論771 ・日本文学特論772 ・日本文学特論773 ・日本文学特論774 ・日本文学特論775 ・日本文学特論776 ・日本文学特論777 ・日本文学特論778 ・日本文学特論779 ・日本文学特論780 ・日本文学特論781 ・日本文学特論782 ・日本文学特論783 ・日本文学特論784 ・日本文学特論785 ・日本文学特論786 ・日本文学特論787 ・日本文学特論788 ・日本文学特論789 ・日本文学特論790 ・日本文学特論791 ・日本文学特論792 ・日本文学特論793 ・日本文学特論794 ・日本文学特論795 ・日本文学特論796 ・日本文学特論797 ・日本文学特論798 ・日本文学特論799 ・日本文学特論800 ・日本文学特論801 ・日本文学特論802 ・日本文学特論803 ・日本文学特論804 ・日本文学特論805 ・日本文学特論806 ・日本文学特論807 ・日本文学特論808 ・日本文学特論809 ・日本文学特論810 ・日本文学特論811 ・日本文学特論812 ・日本文学特論813 ・日本文学特論814 ・日本文学特論815 ・日本文学特論816 ・日本文学特論817 ・日本文学特論818 ・日本文学特論819 ・日本文学特論820<br	

Point  
3

## 教室外にも学びを広げ、学生の興味を広げる。

### ✓ 作者の視点に立って作品を鑑賞する

現代詩や現代短歌の実作者を講師に迎え、作品を鑑賞するだけでなく、学生自ら創作する授業を設置しており、作品をつくることの面白さや難しさを体感することができます。

このように読者と作者の両方の立場を行き来することは、「他者を理解する力」の修得につながります。



### ✓ 日本の文化や芸術を間近で感じる

歌舞伎やミュージカル等、演劇・芸能を鑑賞する機会を設け、伝統文化や舞台芸術に肌で触れる経験を重視しています。ゼミナールによっては学修するテーマに関連した文学館や資料館、名所旧跡等をめぐる「文学散歩」が実施される等、実際に体感することで学びを深めるスタイルを重視しています。こうした活動は学生に良い刺激を与え、新たな学びの領域の開拓にもつながっています。



### たった一文字にでも、 考えや想いを込められるのが面白い！

元々は日本文学に興味があったのですが、立正大学でアイヌや琉球の文化について学んでみると、人と作品が、または作品と作品が意外なところでつながっていて、その奥深さに驚いたことを覚えています。授業では人前で発表をする機会が多く、その発表テーマも自分で決めることができるため、言葉に想いが込めやすい。初めの頃は先生に「あなたの日本語は間違っていないが、物足りない」なんて言われてしましましたが、表現ひとつ、表情ひとつで伝わり方が全く異なることを友人や先生の反応で知ることができ、あらためて言葉が持つ力の強さを感じました。使える言葉が増えるということは、自分や世の中を表現する方法が増えるということ。それは就職活動だけじゃない、人生そのものを豊かにするのだと今では思います。時代と共に増え、変化を続ける日本語という言葉。時には間違いを正し、時にはその変化を楽しむ「言葉との付き合い」を、深めていきたいと思います。

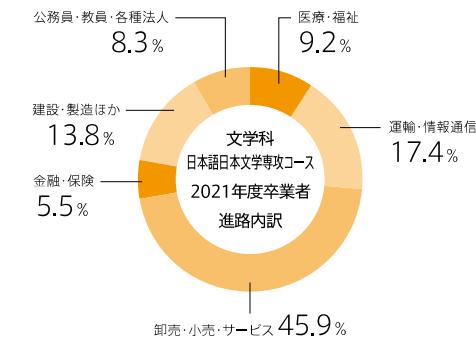
文学部 文学科 日本語日本文学専攻コース 神奈川県立舞岡高等学校出身

## 文学科(日本語日本文学専攻コース)独自の就職サポート

社会人としての自分の将来像をイメージできるよう、公務員（警察官・教員等）、会社員（営業・開発・図書館運営等）として活躍している学科の卒業生を大学に招き、自身の経験を話してもらう「就職座談会」を開催<sup>※</sup>。

また当コースでは近年、教職志望の学生が増加傾向にあるため、教材研究や教育実習、さらに採用試験に関する情報共有や対策を行う「教職サークル」を新たに立ち上げました。学生同士の自主的な交流、および教員による指導体制を整えています。

※コロナ禍中休止



## VOICE 学生インタビュー

### 卒業論文テーマ

- 屏風歌の研究
- 「伊勢物語」論—「かいみみ」を中心に—
- 「源氏物語」「紫の上」について
- 潤谷童子
- 「とりかえばや物語」考
- 与那国島の歴説
- 沖縄における羽衣伝承についての研究
- 島尾ミホ論
- 松尾芭蕉論
- 雨と文学表現
- 上田秋成論
- 近世の言葉
- 寺山修司「あゝ、荒野」論—コミュニケーションとしてのボクシングー
- 江戸川乱歩論—「人でなしの恋」にみる「内面」と20世紀—
- 埼玉県加須市方言の現在—埼玉特殊アクセントと「べー」表現に着目して—
- 色名やことばによる連想
- 漢字の構成について ほか

### 免許・資格

- |                                                                                                                                                               |                                                                                                  |                                                                                                         |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 教員免許</li> <li>■ 中学校教諭一種免許状(国語)</li> <li>■ 高等学校教諭一種免許状(国語)</li> <li>■ 高等学校教諭一種免許状(書道)</li> <li>■ 学校図書館司書教諭</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 専門職</li> <li>■ 博物館学芸員(任用資格)</li> <li>■ 図書館司書</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 行政職</li> <li>■ 社会教育主事(任用資格)</li> <li>■ 社会福祉主事(任用資格)</li> </ul> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|

詳しくはP.16~P.18へ

### 進路・将来像

- |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中学校国語科教諭</li> <li>■ 高等学校国語科教諭</li> <li>■ 学校図書館司書教諭</li> <li>■ 官公庁</li> <li>■ 各種公務員</li> <li>■ 大学事務員</li> <li>■ 社会教育主事</li> <li>■ 社会福祉主事</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 図書館司書</li> <li>■ 博物館学芸員</li> <li>■ 出版関連企業</li> <li>■ 広告関連企業</li> <li>■ 民間企業全般<br/>(情報通信／小売／卸売／学習支援／サービス)</li> <li>■ 大学院進学・研究者 等</li> </ul> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

詳しくはP.34へ